



今年のスタート・ゴールは
野球場に変更

ユニホーム姿で疾走

スポーツ少年団駅伝交流大会



チームの名誉を懸けて走る

市内のスポーツ少年団から81チームが参加する「スポーツ少年団駅伝交流大会」が12月16日、中台運動公園で開催されました。野球・サッカー・バスケットボールなどのユニホーム姿の選手たちが、チームのため懸命にたすきをつないで走る姿に、見守るチームメートや家族は熱い声援を送っていました。

結果は次の通りです。

優勝 紅あずま(大栄FC)

準優勝 レッズ(FCボレイロ)

第3位 成田SSS6年ぱみゅぱみゅ



あとひと息で完成

親子で新年を迎える準備

ミニ門松づくり教室

新年を半月後に控えた12月15日、下総公民館で「ミニ門松づくり教室」が開催されました。土台となる空き缶にわらを巻き、シュロ縄で固定したものに土を入れて、竹と松を見栄えよく挿し、ミニ門松が完成。わらを編んだり、シュロ縄を花形に結んだりといった慣れない作業が続きましたが、親子で力を合わせながら、笑顔で新年の準備に取り組みました。

ごみを拾ってきれいなまちに

空港周辺道路美化活動

空港に通じる道路をきれいにしようと「空港周辺道路美化活動」が12月18日に行われました。337人が5班に分かれ、国際文化会館を出発し、国道295号、408号、51号沿いの歩道に落ちているごみを拾いながら歩きました。参加者は「いつも車で通るときは気付かなかったが、よく見るとたくさんのごみが落ちていることに驚いた。ポイ捨てをしないという、一人一人の心掛けが大切だと感じた」と話していました。



小さなごみも見逃さない



指揮を執る日野原さん

101歳が語る人生の輝き

生涯学習講演会

101歳の今でもなお現役の医師として活躍する日野原重明さんを講師に迎え、「生涯学習講演会」が12月8日、国際文化会館で行われました。「輝きのある生き方～邂逅(出会い)の重要性～」をテーマに約1時間、ステージ上を左右に歩きながら身ぶり手ぶりを交えて、生涯現役の活力の秘訣を伝授。会場を埋め尽くした約1,200人の参加者は真剣に聴き入っていましたが、日野原さんの語りかけるような軽妙な話術で、時には笑い声も上がるなど、和やかな雰囲気。講演後には、日野原さんが指揮を執り、成田国際高校吹奏楽部の伴奏に乗せて生涯大学院生が唱歌「故郷(ふるさと)」のコーラスを披露し、それに合わせて参加者全員が合唱するなど、会場が一体となって盛り上がりしました。

イルミネーションにうっとり

ナリタエアポートクリスマス・フェスティバル2012

一足早いクリスマス気分が味わえる「ナリタエアポートクリスマス・フェスティバル2012」が12月15日、成田空港で開催されました。あいにくの空模様でしたが、ステージで繰り広げられるダンスやコンサート、ヒーローショー、大抽選会などが会場を盛り上げました。午後6時ごろには、カウントダウンに合わせて6メートルの巨大ツリーが点灯するなど、会場が幻想的なイルミネーションに彩られ、クリスマスムードは最高潮に。続いて行われた青山テルマさんのスペシャルライブでは、凍えるような寒さのなか待ち続けた大勢の観客がその歌声に魅了されました。



集まった人たちの熱気に包まれた会場



小泉市長を表敬訪問



お世話になったホストファミリーと

ホームステイ交流や視察で日本を体験

井邑市中学生友好訪問団

友好都市の韓国・井邑市チョンウップから、中学生友好訪問団16人が、12月21日～23日の3日間、本市を訪れました。平成24年は、本市と井邑市との友好都市締結10周年記念の年でしたが、両市の交流は、友好都市となる前の平成

12年から続いています。訪問団は滞在中、ホームステイ交流をしたほか、房総のむら・成田山新勝寺などを見学。お互いの生活や文化の違いを学びつつ、両市の友好の絆を再確認しました。